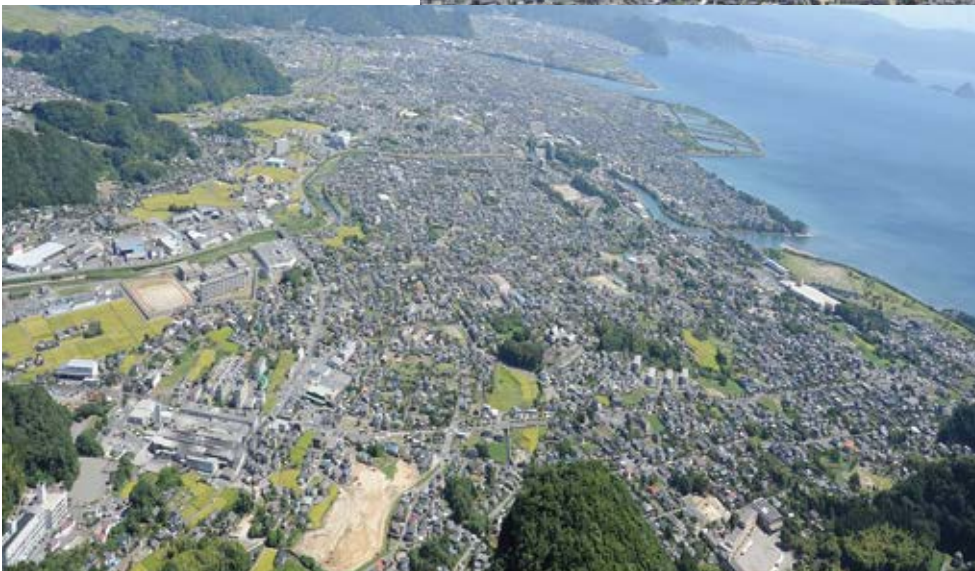


【オリジナル版】

# 重富校区まちづくりプラン

## (夢づくり計画)



平成 30 年 1 月

重富校区コミュニティ協議会

# 《 目 次 》

## はじめに

### I 重富校区の概要

1. 校区の位置図
2. 校区の特色ある風景・史跡等
3. 重富校区コミュニティ協議会の組織体制

### II 重富校区の現状と課題

1. 校区の現状
2. 校区の課題

### III 重富校区がめざす将来像

### IV 主な取り組みと役割分担

### V 計画の推進に向けて

### VI 資料編

1. 計画策定の経過
2. 重富校区まちづくりプラン策定委員会委員
3. 重富校区の自治会[区域]別人口情報

## はじめに

私たちの重富校区は鹿児島市に近く、交通の便が良いため鹿児島市への通勤者が多くなり、住宅の新築また借家をしたりして転入者が増加しています。

また、福祉施設、医療機関、運送会社、食品会社、商業施設なども増加し、高速道路・国道・県道の整備に伴い交通の往来が激しくなっています。

一方、重富校区は防災の面から考えると、海・山・川があり危険な地域と思われる所がいくつかあることから自主防災組織の確立と防災研修や防災訓練がいっそう望まれます。

重富校区のブランド力は、①自然の豊かな地域②重富の産業③重富にある公共施設④校区内にある史跡⑤重富に住んでいる住民によって構築されています。

どれをとっても校区に欠かせないものばかりではありますが、新しい試みで本当のブランド力をつけるためには時間がかかると思います。

だからこそ皆で知恵を出し合いながら進んでいく必要があります。

これからの校区振興を考えると、子どもからお年寄りまでが健康で安心して暮らせる地域づくりが大切だと思うのです。

重富の夢づくりに向かって、コミュニティ協議会が結成されて4年目、重富小学校の児童が作ったキャッチフレーズ『喜びと 笑顔が広がる 重富校区』のもとに取り組んでいこうと思っています。

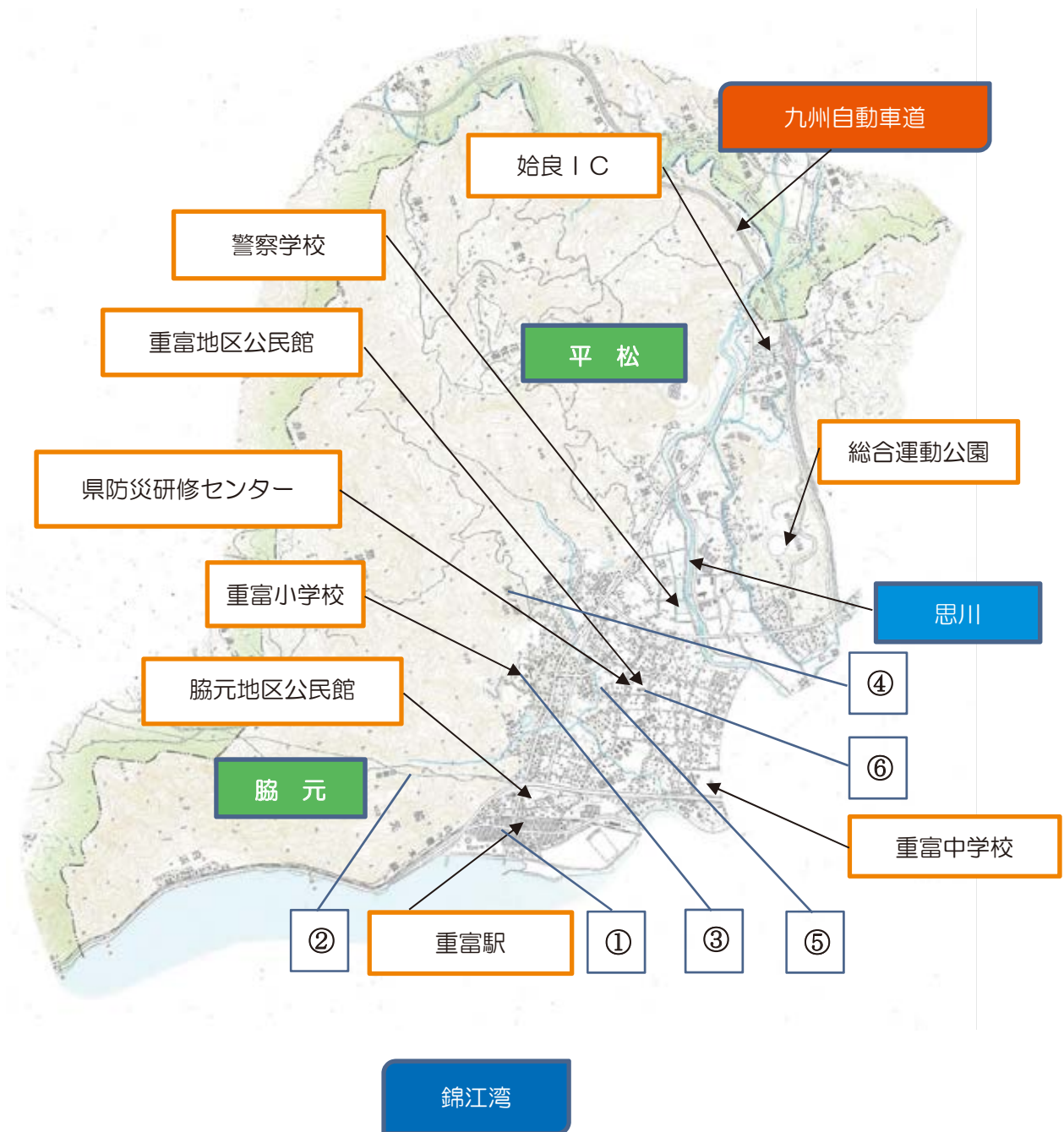
重富校区コミュニティ協議会

まちづくりプラン策定委員会 委員長 高味 英毅

# I 【重富校区の概要】

## 1. 校区の位置図

重富校区は始良市の南部に位置し、錦江湾奥部の重富漁港から鹿児島市境までの脇元地区と、重富地区の大部分を占める平松地区に大別されます。国道 10 号線から分岐した県道 57 号線を中心に住宅地や商工業施設が広がり、2 級河川の思川が地域の中央部を流れ錦江湾に豊かな水を注いでいます。又、始良市中心街に近いことや鹿児島市や霧島市への移動も九州自動車道や国道 10 号線利用により利便性が高く、ベッドタウンとしても今後の発展が見込まれる地域です。

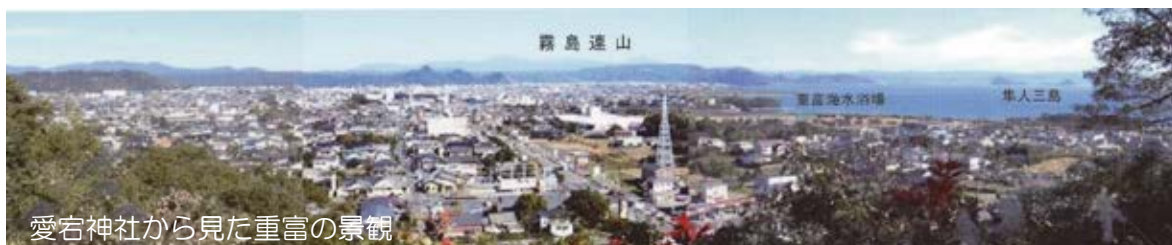


※①～⑥は3、4ページの位置図番号です。

## 2. 校区の特色ある風景・史跡等

私たちの住むまち「重富」は、霧島錦江湾国立公園の一翼として景色も素晴らしく、海あり、山あり鹿児島市や空港も近く生活も便利で大変住みよい自慢できる地域です。

### ◎<sup>しげとみ</sup>重富と言う地名



愛宕神社から見た重富の景観

鹿児島県内で縁起の良い地名として「重富(富が重なる)」と「喜入(喜びが入る)」が挙げられます。しかし、この二つの地名には「喜入」が島津氏下向以前から居た豪族の名であるのと違って、「重富」は元文2年(1737)再興された重富島津家のかつての領地であった越前(福井県)の地名に由来するものです。

### ◎<sup>しらかねしゅぞう</sup>白金酒造の酒蔵 【位置図番号 ①】



石造りの酒蔵

明治2年創業の白金酒造は長い歴史を刻む重富の象徴です。

この白金酒造の酒蔵はそのころ建築されたもので「国の有形文化財」に指定されています。あの西郷さんも何度も訪れたとか。平成29年には「石蔵ミュージアム」がオープンし、重富にまた新しい見どころが誕生しました。

### ◎<sup>しらかねざか</sup>歴史国道白銀坂 【位置図番号 ②】

明治6年(1873)、重富までの海岸道(国道10号線)が開通するまでは、唯一鹿児島城下に通ずる街道(大口筋)として利用されていました。「伊能忠敬」や様々な歴史上の人々も通った、約4キロの歴史国道です。また

白銀坂の傍らには高さ20m、幅2mと小ぶりながら白布を思わせる上品な「布引の滝」もあります。



白銀坂登り口

布引の滝

### ◎<sup>ひらまつじょうし</sup>平松城跡(重富小学校)と<sup>いわつるぎじょうし けん ひら</sup>岩劔城跡(剣の平) 【位置図番号 ③ ④】

わが国で初めて鉄砲が使用された「岩劔城の戦い」天文23年(1554)に勝利した島津義弘が蒲生氏の龍ヶ城が落ちるまでの3年間在番した時の麓の居館としたのが平松城の始まりといわれています。現在の野面積みの手法で作られた石垣や重富館を中心とした重富麓の原型は、後に再興された重富島津家以降のもので、重富小学校の門柱は、かつての県庁が鹿児島市の中央公園にあった時のもので、「国の有形文化財」になっています。



平松城跡(野面積みの石垣)



重富小学校正門

## ◎越前(重富)島津家墓所と紹隆寺【位置図番号 ⑤】

越前(重富)島津家が元文2年(1737)再興されてから歴代の方々30余のお墓があります。その入口左側には、西南の役に重富村から出征し戦死した方々の名前を刻んだ「招魂石」があります。「招魂石」の文字は中国の大政治家・「王陽明」の書から集字拡大したものです。



越前重富島津家墓所



招魂石

この「招魂石」の向かいには、反私学校派の悲劇を今に伝える墓もあります。

紹隆寺は越前島津家の菩提寺であった曹洞宗大本山永平寺の鹿児島出張所でもあります。毎週定期的に「座禅会」も開かれて地区の方々にも開放されています。



紹隆寺



とっくり墓

また、紹隆寺墓地には、珍しい「とっくり墓」

があります。焼酎の好きだった故人に来世でも好きなだけ飲んでくださいという遺族のやさしい心遣いにほっこりします。

## ◎名馬「池月」の墓【位置図番号 ⑥】



池月の墓

重富地区公民館の前庭には、寿永3年(1184)源義経と木曾義仲との戦いのひとつ、「宇治川の先陣」で佐々木高綱が騎乗した名馬「池月」の墓があります。

源頼朝に見いだされ長い間源氏のために働き、後に年老いた池月に老後を故郷の指宿で過ごさせようとお供を付け送り届ける旅の途中、重富の地で力果てて死んだので、土地の人々が大いに憐れんでこの地に埋葬しました。

## ◎重富の郷土行事

かつて、重富の地でも古くは「もぐら打ち」、昭和中期ごろまでは「おぎおんさあー(脇元祇園まつり)」などさまざまな伝統行事が行われていましたが、時代とともに棄れてしまいました。しかし、現在では地域の人々によって「愛宕神社六月燈」、お正月過ぎの年中行事「鬼火焚き」、さらに紹隆寺によるお盆行事「思川精霊流し」などが行なわれています。また校区内には、山の神11体、田の神4体の石像が現存しますが、中でも「触田の田の神」は保存も良く県内外に存在する田の神でも古いほうで、元文2年(1737)に鎮座したものです。



愛宕神社六月燈



上水流の鬼火焚き



触田の田の神

### 3. 重富校区コミュニティ協議会の組織体制

① 設立年月日 平成27年8月1日

② 構成団体

校区26自治会、校区民生委員・児童委員、学校・PTA、消防分団  
いきいきサロン、老人クラブ、医療福祉施設、地域内企業、NPO法人

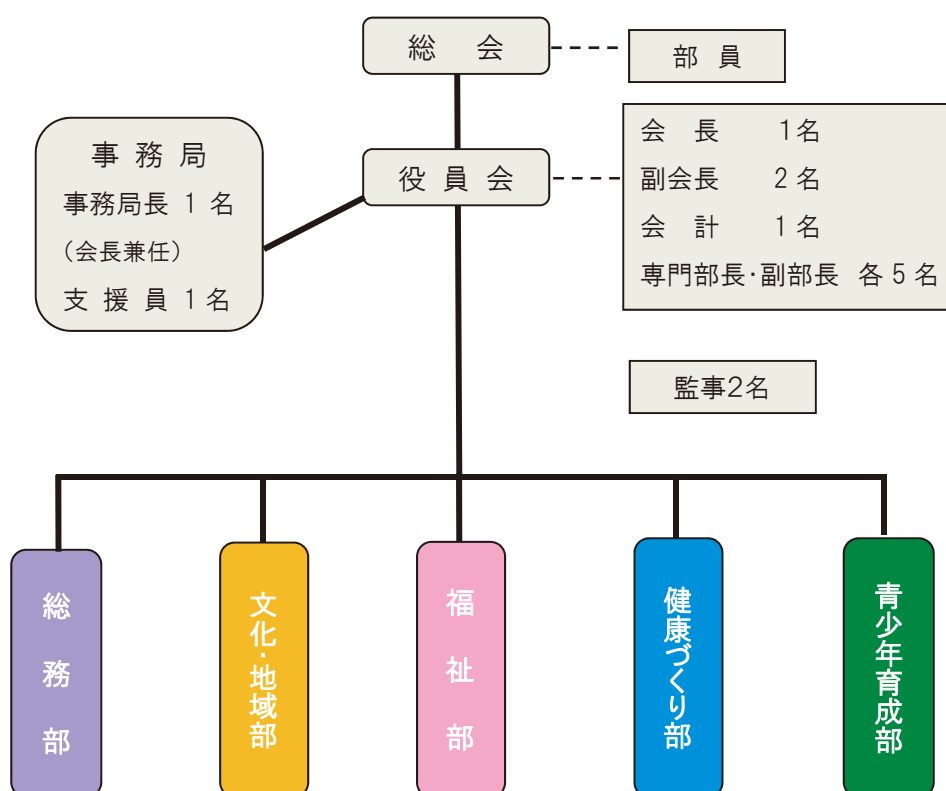
③ 運営の現状

旧来の重富校区を単位とした重富校区社会福祉協議会、重富校区体育振興会及び重富校区青少年育成協議会の活動を継承すると共に、縦割りの事業運営から横断的の活動が図れる組織構成に編成替えを行い、地域づくり活動の更なる活性化を目指します。そして地域と行政のパイプ役としての統括機能を充実させ、迅速な地域課題の解決に向けた取組み等を行い地域住民の満足度向上を目指しています。

④ 平成29年度役員名 ( )内は副部長

会 長：野口 治将 [事務局長兼任] 副 会 長：高味 英毅 高野 俊明  
総 務 部 長：野口 治将 (今末 勉) 文化・地域部長：川野 博 (本田 親幸)  
青少年育成部長：上野 弘 (柿元 千代子) 福 祉 部 長：嘉藤 健 (渡邊 正則)  
健康づくり部長：有馬 耕一 (宮園 芳人)

⑤ 組 織 図



## Ⅱ【重富校区の現状と課題】

### 1. 校区の現状

[平成 29 年 7 月 1 日現在]

- ① 人 口 〔男〕 4, 564人 〔女〕 5, 050人 合計 9, 614人
- ② 世 帯 数 4, 659 世帯
- ③ 高齢化率 31.1% (65 歳以上)
- ④ 小・中学校 [平成 29 年 9 月 1 日現在]
  - ・重富小学校 男子 289 人 女子 285 人 合計 574人
  - ・重富中学校 男子 354 人 女子 310 人 合計 664人

- ⑤ 消防団 [平成 29 年 9 月 1 日現在]
  - ・始良方面隊重富分団 脇元部 19人 平松部 19人

- ⑥ 校区内の主な公共施設
  - ・脇元地区公民館 ・重富地区公民館
  - ・始良市総合運動公園
  - ・始良市消防本部始良分遣隊
  - ・鹿児島県防災研修センター
  - ・鹿児島県警察学校
  - ・県立始良病院
  - ・JR九州重富駅

#### ⑦ 校区の特徴

始良市の南部に位置し、国道 10 号線や九州自動車道の始良インター等交通の便が良いことから流通関連企業を初めとした各種企業が進出しています。

又、交通の利便性から鹿児島市のベッドタウンとして住宅建設が進んでいることから、人口が増加し小学校の児童数増がここ数年続いています。

そして、海岸部の脇元地区から山手を含む平松地区まで特色ある地区を有する発展性豊かな地域です。

さらに、鹿児島県警察学校、鹿児島県防災センターや鹿児島県立始良病院等の公共機関が校区内に点在する地域でもあります。

#### ⑧ 校区の産業等

時代とともに農業人口は減少していますが、今は地元農産物を店頭に並べるスーパーや道路沿いで野菜販売も行なわれ、地域住民から親しまれています。

又、漁業は錦江湾奥部に位置した重富漁港を中心に小型船舶による漁業が行なわれています。

更に、始良インター近くには工業団地があり、各業種の流通配送センター、酒造メーカー工場等の各種企業が進出し、近隣の主婦層や若者の就業先になっています。



## ⑨ その他

始良市総合運動公園や複数の天然温泉があり、地元の住民や校区外からスポーツや休息で訪れる市民も多い地域です。

又、白銀坂や布引の滝、平松城跡、更には県内最古の焼酎蔵や田の神等の観光資源や史跡が多く点在する事から、「あいらビュー号」の主要観光ルートとなっています。

このように重富校区はスポーツ・観光・行楽他として更なる発展の可能性を秘めた地域でもあり多方面からの開発が期待されます。

## 2. 校区の課題《専門部毎》

### ① 総務部

重富校区の中心地域は始良市の住居地域の用途指定を受け、鹿児島県央の地の利を生かし交通、流通の要所としての発展と、鹿児島市への通勤に便利な地域として、ますます居住人口が増えると思われれます。

このような状況下、自治会活動への関心が希薄となり易く、結果として住民相互の意思疎通が図りにくいなどの問題、自治会未加入問題などや住民の高齢化による行事参加者の減少、あるいは自治会役員の選出に苦慮しています。

校区の西南部、吉野台地から続く山の全域が土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流箇所等に指定されていますが、高齢化による災害弱者の増加が見込まれる事から避難訓練をはじめとした弱者対策が急務となっています。

#### [課題]

- ・自治会活動活性化[行事参加者・役員・未加入問題等]への取り組みを支援
- ・校区内の問題点[道路環境・インフラ整備・防犯・防災等]の情報取りまとめと行政との調整推進
- ・専門部間の調整役として、各種連絡会議等を積極的に開催

### ② 文化・地域部

暮らしが便利になり、他人の助けはなくとも生活していけると考える人や、隣人同志のつきあいの心はさほど必要と感しない人が増加し、地域内での人と人との交流がますます希薄になってきています。

しかし、このような状況の中ですが人と人が交流し、意思を共有し、互助の精神を培い、理解しあい、地域の中に「交流」「連携」の輪を広めるためにも、暮らしの中に「文化」「地域に対する情愛」を醸成し、「ふるさと」を愛する精神を養うことが不可欠だと考えます。

そこで様々な文化的行事、地域での共同活動（環境・防犯防災等）、ボランティア活動等から生まれる「住民パワー」を育て、重富校区に『住んで良かった・生まれて良かった』と多くの方が実感できるまちづくりを行ないます。

#### [課題]

- ・地域の課題の掘起しと改善促進活動
- ・居住年数の異なる人の交流の場、特に世代の違う人々の交流の場づくり
- ・文化・地域部関係行事に携わるボランティアの育成

### ③ 福祉部

生活様式の多様化や地域住民相互の連携意識も希薄となる中で、高齢化が進み独居や高齢者世帯が増加した現状下、生活弱者(買い物やゴミ出し等が困難な人)と呼ばれる住民が生じてきている。

一方、高齢者の自立・見守り等を目的としたサロン活動等を展開しているが、老老支援状態や行事内容のマンネリ化、更には男性参加者が少ない等の状況が各サロン共通して見受けられる。

#### [課題]

- ・ 地域福祉に関わる各種情報発信力の強化
- ・ いきいきサロンや地域行事等への新たな参加者（若い運営者、アドバイザー等ボランティア）を増やす活動の展開
- ・ 地域の見守り活動活性化による生活弱者掘起しと行政との連携
- ・ 地域住民の福祉に関するアンケートの実施

### ④ 健康づくり部

事務局や各自治会の体育委員等の努力もあり、グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール・ペタンク大会を定期的実施しているが、種目によっては年々参加者が減少している

#### [課題]

- ・ 開催行事毎の実行体制(役員やサポーター)の拡充
- ・ 競技種目別の参加人員の確保
- ・ 専門分野でのリーダーの育成

### ⑤ 青少年育成部

重富小学校においては児童数が増加傾向にあるが、地域活動においては様々な年齢の活動の機会が少なくなっていると思われるので、そのような活動を心掛けたい。

#### [課題]

- ・ 住民意識の多様化等により地域行事への参加数の拡大
- ・ 小中学校の先生方と地域行事活動をする機会の増加
- ・ 子ども会活動の強化やPTAとの交流・連携

## Ⅲ 【重富校区がめざす将来像】

### 《1.重富校区が目指す将来像》

この将来像は子供達から高齢者まで、地域住民の皆さんが生まれて良かった・住んで良かった・働いて良かったと言えるような、幸せを実感できる夢多き地域に育ててほしいとの思いから、重富小学校の児童から募集してキャッチフレーズとして掲げました。

## 《2.専門部別の基本方針》

将来像を達成するために、以下に示す5つの部会毎に「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向けて行動します。

専 門 部	項 目	内 容
総 務 部	目指す姿	<b>明るく笑顔で暮らせる地域づくり</b>
	基本方針	重富校区への郷土愛を育み、現在の自治会活動に対する住民意識の向上などを目的に、各自治会間の情報交換と情報共有化を積極的に行います。 各種開催イベントへの積極的な支援を行い、校区全体で取り組める交流の場づくり、そして住民への参加働きかけ活動推進により地域の活性化を図ります
文化・地域部	目指す姿	<b>地域で育む、文化・コミュニティ活動</b>
	基本方針	家庭、学校、地域などが連携して、地域の文化活動推進を図り暮らしの満足感を高めます。さらに地域内の奉仕活動などを通じ生まれた「交流の和」を少しでも拡げるために活動します。
福 祉 部	目指す姿	<b>⑤だんのくらしに ①あわせを</b>
	基本方針	社会の変化により発生する福祉に関する様々な問題を掘起し、住民の生活上の不安や悩み解消に行政と連携して取り組みます。 みんなが健康で安心して暮らし続けられ、高齢者にも優しい地域づくりに取り組みます。
健康づくり部	目指す姿	<b>スポーツで地域の幸せづくり</b>
	基本方針	イベントを通じて、参加者間の親睦を深めます。 日頃の運動不足の解消と体力づくりを習慣化して健康寿命を延ばす活動を支援します。 新規イベントの導入に取り組みます。
青少年育成部	目指す姿	<b>子供達と地域で育む郷土愛</b>
	基本方針	学校と地域の結び付きを強め、子供達一人ひとりが重富校区の一員であるという自覚を持ち、大人になって校区を離れても、ふるさとを誇りに感じられるよう、伝統行事への参加や日頃の挨拶運動、見守り活動などを継続していきます。

## IV【主な取り組みと役割分担】

《専門部毎の目指す姿》

キャッチフレーズ	専門部	目指す姿	取組む分野
喜びと笑顔が広がる重富校区	総務部	明るく笑顔で暮らせる地域づくり	地域課題への取組 地域の活性化活動
	文化・地域部	地域で育む、文化・コミュニティ活動	文化活動 地域活動
	福祉部	⑤だんの ④らしに ③あわせを 幸せな暮らしができる地域や仕組みづくり	生活弱者支援 高齢者支援
	健康づくり部	スポーツで地域の幸せづくり	イベント体制強化 絆や連帯感を養う
	青少年育成部	様々な年齢層での地域活動の強化	子ども会活動

《専門部毎の取り組み》

専門部名		総務部					
目指す姿		明るく笑顔で暮らせる地域づくり					
<p>(現在取り組んでいること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区コミュニティ協議会活動の情報発信・広報・支援</li> <li>・ 各自治会との情報交換、情報共有、地域課題への対応検討</li> <li>・ 未加入世帯の実態調査と積極的加入促進</li> </ul>							
<p>(今後取り組むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民アンケートにより住みやすいまちづくり創造への提言の取りまとめ</li> <li>・ 校区内イベントへの積極的参加</li> <li>・ 重富校区の住みやすさのアピール</li> </ul>							
項目		役割分担			実施時期		
		校区	協働	行政	短期	中期	長期
地域課題への取組	自治会や専門部との連携による課題抽出		○				○
	行政と連携した空家対策		○				○
	自治会加入促進活動の推進		○		○		
地域の活性化活	住民アンケートによる校区の将来像創出	○			○		
	自治会活動への支援・情報共有化		○				○
	校区内開催イベントの情報収集と参画	○			○		

専 門 部 名		文化・地域部					
目 指 す 姿		地域で育む、文化・コミュニティ活動					
<p>(現在取り組んでいること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動による地域の親睦促進[そば作り教室・こけ玉作り教室等]</li> <li>・環境整備活動[地域内活動拠点にプランターによる花の植栽と管理]</li> <li>・地域の各種情報の再点検活動[自治会マップ、人身事故多発地点マップ作成]</li> </ul>							
<p>(今後取り組むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的行事や地域の共同活動を介して、ボランティア精神の「住民パワー」を引出す</li> <li>・人的交流を促進して「地域に対する情愛」「ふるさとを愛する精神」を養う</li> <li>・地域情報エリアマップの作成と広報による環境・防犯・防災体制の強化</li> </ul>							
項 目		役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
文化活動	郷土の歴史散策	○					○
	体験型行事の推進	○					○
	文化・趣味活動による親睦	○					○
地域活動	環境課題の抽出と解決		○				○
	安心安全なまちづくり[防災・防犯活動]		○				○
	広報活動による地域の連帯感の充実	○					○

専 門 部 名		福祉部					
目 指 す 姿		『㊦だんの ㊧らしに ㊨あわせを』の実感できる活動展開					
<p>(現在取り組んでいること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉部員の連携による高齢者福祉活動及び赤い羽根共同募金活動への参加</li> <li>・部研修会の実施による福祉活動知識の習得と意識改革</li> <li>・広報活動の積極展開[サロンの活動等福祉に関する情報を住民にタイムリーに知らせる]</li> </ul>							
<p>(今後取り組むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや関係者からの聞き取りによる地域の福祉関連課題を掘り起こす努力</li> <li>・サロン活動活性化への取り組みとして、校区合同サロンの開催検討</li> <li>・生活弱者や高齢者の支援体制の仕組みを構築</li> </ul>							

項 目		役割分担			実施時期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
生活弱者 支援	生活弱者掘起し活動 の展開	○					○
	生活弱者支援項目の 確立と推進		○			○	
高齢者 支援	いきいきサロン活動 の活性化支援促進		○			○	
	高齢者見守り体制の 課題抽出	○			○		
	徘徊模擬訓練の拡充		○			○	
共通	福祉満足度の調査 活動	○			○		

専 門 部 名	健康づくり部						
目 指 す 姿	スポーツで地域の幸せづくり						
(現在取り組んでいること)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継承イベント開催</li> <li>・ 始良市スポーツ大会に向けた予選会などの開催、ニュースポーツ等の普及啓発</li> </ul>							
(今後取り組むこと)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続できるイベントの発掘・定着化</li> </ul>							
項 目		役割分担			実施時期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
イベント 体制強化	イベントの活性化・ 新規イベントの導入	○					○
	イベントの各専門分 野のリーダーの育成	○				○	
	スポーツ備品の充実	○			○		
絆や 連帯感を 養う	高齢者向けスポーツ 行事の充実	○			○		
	広報活動の強化による 各年齢層の参加拡大		○		○		
	校区外大会への積極的 参加		○		○		

専 門 部 名	青少年育成部						
目 指 す 姿	様々な年齢層での地域活動の強化						
(現在取り組んでいること)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重富小学校の職業体験や障害者施設への訪問活動、青少年の主張発表会の開催</li> <li>・あいっこ見守り隊活動やスクールゾーン対策委員会および青少年市民会議への参加</li> </ul>							
(今後取り組むこと)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な年齢層での活動連携強化に向け、子ども会やPTAとの情報交換の仕組みづくり</li> <li>・通学路や危険箇所の点検</li> </ul>							
項 目		役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
子 ど も 会 活 動	様々な年齢層での活動強化	○					○
	通学路の整備や危険箇所の点検	○			○		

《役割分担や実施時期》

役 割 分 担		実 施 時 期	
地 域	校区内で取り組むこと	短 期	1～2年で取組む
協 働	校区と行政が共同で取り組むこと	中 期	3～5年で取組む
行 政	行政が取り組むこと	長 期	6～10年で取組む

## V 【計画の推進に向けて】

各部会が現在までの活動を振り返り、今後のプランを策定しました。

掲げた目標を達成するには、校区住民の理解と協力が不可欠ですので、広報活動や各自治会との連携を図りながら個別の活動を展開してまいります。

また、校区コミュニティ協議会の活動をより深く地域住民に理解していただく事を目的に、住民アンケートを実施して満足度不足項目を明確に見出し、諸課題への対策を講じるとともに、行政と地域が協働し、特にインフラ整備・環境整備などは今後の行政計画にも要望してまいります。

## Ⅵ【資料編】

### 1. 計画策定の経過

平成 29 年度

期 日	項 目	内 容	会 場
5月18日	コミュニティ三役会	○まちづくりプランについての説明	ギャラリーわ
6月15日	コミュニティ三役会	○まちづくりプランについての内容 確認と意見交換	ギャラリーわ
8月 8日	コミュニティ協議会(役員会)でプラン検討会	○まちづくりプラン方針打合せ ○策定委員選定	重富地区公民館
9月13日	第1回策定委員会	○各部の活動プラン提示と検討 ○策定委員の役割分担を確認	重富地区公民館
10月11日	第2回策定委員会	○まちづくりプランの骨格決定	重富地区公民館
11月 8日	第3回策定委員会	○まちづくりプラン調整会議 ○まちづくりプラン概要版の検討	重富地区公民館
12月13日	第4回策定委員会	○まちづくりプラン最終調整会議	重富地区公民館

### 2. 重富校区まちづくりプラン策定委員会委員

No	役 職	氏 名〔自治会〕	委員会の役職
1	校区コミュニティ協議会副会長	高味 英毅〔奥山花〕	委員長
2	校区コミュニティ協議会副会長	高野 俊明〔城瀬〕	副委員長
3	校区コミュニティ協議会会計	川畑 靖子〔栢山上〕	委員
4	総務部 副部長	今末 勉〔城瀬〕	委員
5	文化・地域部 部長	川野 博〔白金原〕	委員
6	文化・地域部 副部長	本田 親幸〔年平〕	委員
7	福祉部 部長	嘉藤 健〔上水流〕	委員
8	福祉部 副部長	渡邊 正則〔栢山上〕	委員
9	健康づくり部 部長	有馬 耕一〔栢山下〕	委員
10	健康づくり部 副部長	宮園 芳人〔触田下〕	委員
11	青少年育成部 部長	上野 弘〔坂下〕	委員
12	青少年育成部 副部長	柿元 千代子〔口山花〕	委員
13	重富小学校 校長	茶圓 正幸〔豎野〕	委員
14	老人会代表	東倉 勝巳〔山ノ口〕	委員
15	民生委員・児童委員代表	中馬 了〔原方〕	委員
16	重富小学校 PTA・児童クラブ代表	岩下 陽太郎〔白金原〕	委員
17	校区コミュニティ協議会会長(兼)総務部長	野口 治将〔栢山上〕	顧問
18	校区コミュニティ協議会 支援員	岩下 恵美〔山ノ口〕	事務局



### 3. 重富校区の自治会[区域]別人口情報

平成29年7月1日現在

No.	自治会	世帯数	総人口	男性	女性	0~14歳	15~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上	高齢化率	後期高齢者率
1	白浜	22	34	13	21	0	11	4	12	7	67.6	55.9
2	梅山	50	90	40	50	8	35	22	16	9	52.2	27.8
3	坂下	81	142	64	78	13	66	32	9	15	40.1	16.9
	坂下(区域)					0	6	1	0	0		
4	油屋	30	53	26	27	3	20	16	5	8	54.7	24.5
	油屋(区域)					0	1	0	0	0		
5	仲町	72	126	63	63	16	71	12	18	8	31	21.4
	仲町(区域)					0	0	0	1	0		
6	年平	58	58	29	29	7	26	8	8	7	41.4	25.9
	年平(区域)					0	1	1	0	0		
7	上ノ上	109	202	103	99	21	105	33	18	17	36.1	18.8
	上ノ上(区域)					0	3	2	2	1		
8	上ノ東	32	55	28	27	2	28	17	4	2	41.8	10.9
	上ノ東(区域)					0	2	0	0	0		
9	白金原	781	1678	798	880	238	891	246	168	82	30.3	15.1
	白金原(区域)					7	33	9	3	1		
10	栢山上	134	276	122	154	37	153	34	29	22	30.8	18.5
	栢山上(区域)					0	1	0	0	0		
11	栢山下	82	186	84	102	30	103	16	21	11	26.3	17.7
	栢山下(区域)					0	4	0	1	0		
12	星原	214	478	212	262	93	288	60	19	14	20.1	6.9
	星原(区域)					0	1	3	0	0		
13	口山花	191	362	169	193	46	184	55	30	38	34.8	18.8
	口山花(区域)					0	6	3	0	0		
14	奥山花	231	539	244	295	87	281	92	49	22	31	13.5
	奥山花(区域)					1	3	2	0	2		
15	豎野	826	1839	851	988	249	968	242	182	103	30	18.8
	豎野(区域)					19	57	13	5	1		
16	原方	447	1011	482	529	178	557	127	79	48	26.2	12.7
	原方(区域)					1	10	10	0	1		
17	山ノ口	318	735	351	384	144	403	85	61	32	24.2	12.7
	山ノ口(区域)					1	9	0	0	0		
18	城瀬	84	173	90	83	22	74	37	24	16	44.5	23.1
19	森山	161	349	173	176	57	197	50	30	10	27.2	12.3
	森山(区域)					0	0	2	2	1		
20	城下	84	174	78	96	24	83	32	22	12	37.9	19.5
	城下(区域)					0	1	0	0	0		
21	上水流	124	272	134	138	28	142	52	26	14	35.3	15.8
	上水流(区域)					2	4	1	3	0		
22	触田上	49	95	42	53	4	42	26	21	2	51.6	24.2
23	触田下	118	193	98	95	11	88	37	32	9	44.6	23.3
	触田下(区域)					0	8	4	2	2		
24	福ヶ野	15	21	11	10	0	5	5	4	4	61.9	38.1
	福ヶ野(区域)					0	3	0	0	0		
25	高牧	5	6	4	2	0	0	4	0	2	100	33.3
26	剣之平団地	48	133	60	73	39	78	8	5	3	12	6

※(区域)とは自治会未加入

#### 【参考】

No.	団体名	世帯数	人口計	男性	女性	0~14歳	15~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上	高齢化率	後期高齢者率
1	信愛	33	37	16	21	0	0	0	13	24	100	100
2	警察学校	106	106	90	16	0	106	0	0	0	0	0
3	始良病院職員	2	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0
4	始良病院	24	24	17	7	0	17	5	2	0	29.2	8.3
5	マモリエあいら	75	77	15	62	0	1	2	17	57	98.7	96.1
6	サザンブルー	21	26	10	16	0	1	4	9	12	96.2	80.8
7	イケダパン	61	62	44	18	0	60	2	0	0	3.2	0

## 重富校区自治会配置概図

文化・地域部 作成 平成 29 年 11 月 1 日版



**作成** 重富校区コミュニティ協議会  
まちづくりプラン策定委員会  
委員18名〔委員長 高味 英毅〕  
**発行** 平成 30 年 1 月 1 日

**連絡先** 重富校区コミュニティ協議会事務局  
〒899-5652 始良市平松 6252 番地  
TEL 0995-73-7174  
Fax 0995-73-7177  
sigetomi-aikomi@po5.synapse.ne.jp